

三井のリパーク、9月1日（木）に仙台五橋第2駐車場を 災害時支援型駐車場としてリニューアル ～防災の日に合わせて、災害時に役立つ各種設備を導入～

三井不動産リアルティ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：遠藤靖、以下、当社）と、三井不動産リアルティ東北株式会社（本社：宮城県仙台市、代表取締役社長：根木孝）は、「三井のリパーク」仙台五橋第2駐車場に、「非常用電源」や「簡易トイレ」などの災害時支援設備を設置した「災害時支援型駐車場」として、9月1日（木）にリニューアルオープンすることをお知らせいたします。

当社は、駐車場事業「三井のリパーク」を展開し、日本全国16,285箇所[※]で駐車場を運営しています。2016年より、災害発生時に駐車場を支援拠点として提供する地域貢献の取り組みとして「災害支援型駐車場」を開設し、現在、埼玉・大阪・兵庫の全国3カ所にて運営しております。このたび、6月まで仙台広瀬通第2駐車場にて運営していた「災害支援型駐車場」の各種設備を仙台五橋第2駐車場へ移転し、仙台五橋第2駐車場を「災害支援型駐車場」として新たに開設します。

本駐車場では、停電時にも備え付けのコンセントからスマートフォンなどへの充電ができる「ソーラーLED街路灯」のほか、災害時における負傷者手当ての利用などを想定した「組立式テント」や「簡易トイレ」、炊き出しや防寒などに役立つ「かまどベンチ」を設置します。また災害時の一時避難施設として、車中泊避難にも対応可能な施設となっております。

三井不動産リアルティと三井不動産リアルティ東北は、住まいや街の価値を活かして、お客さまが抱えるさまざまな課題を解決するお手伝いをしていくことで、お客さまの暮らしのより豊かな未来の実現に貢献してまいります。

※ 2022年7月末日時点

＜導入設備＞

・ソーラーLED街路灯（非常用電源・AED付[※]）：1台

日照時に発電を行い、蓄電された電力で夜間にLED照明を点灯します。また、災害時には備え付けのコンセントから、スマートフォンやラジオなどの充電を行うことが可能です。さらに、足元にあるキャビネットには、AEDが格納されています。

※ AEDは後日設置予定



[ソーラーLED街路灯]

・組立式テント：1台

災害時における負傷者手当てや一時的な休憩などでの利用を想定したテントです。駐車場外周部に設置してあるパネルの内部に収納されています。



[組立式テント]

・簡易トイレ・簡易プライベートテント：各1台

簡易トイレと簡易プライベートテントを組み合わせることで、災害時に個室トイレとして利用できます。ベンチ内部に収納されています。

・かまどベンチ：1台

災害時の防寒、炊き出しなどに利用できます。ベンチ内部に収納されています。



[簡易トイレ・簡易プライベートテント] [かまどベンチ]

<事業地概要>

【駐車場名】「三井のリパーク」仙台五橋第2

【所在地】宮城県仙台市青葉区五橋1丁目2-40

【最寄駅】仙台市営地下鉄南北線「五橋」駅

【リニューアル】2022年9月1日（木）

【台数】50台（全て時間貸）

【利用料金】2022年9月1日時点

<通常料金> 0:00~24:00 20分/200円

<最大料金> 7:00~19:00 1600円、19:00~7:00 600円

■三井不動産リアルティグループにおける新型コロナウイルス感染予防対策

当グループでは、お客さまならびに従業員の健康と安全確保を最優先として、従業員における在宅勤務・時差出勤の実施やマスク着用・定期的な手洗い・うがいの励行と手指の消毒など、新型コロナウイルスの感染拡大防止に取り組みながら、事務所・センターでのサービスの提供に努めております。

本件については、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会、東北電力記者クラブ、自動車産業記者会へ資料を配布しております。

～ 本件に関するお問い合わせ先 ～

三井不動産リアルティ株式会社 企画部広報グループ TEL: 03 (6758) 4062